

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法

(2018年3月27日追補)

この追補は、2005年2月10日に改訂された“陸用ディーゼルエンジンピストン評価法”2005年度版の追補である。

したがって、今後、JPI-5S-15-2005とは、この追補を含むものとする。

なお、この追補は該当箇所のみを示す。2018年3月27日の追補は次の1箇所である。

追補 1

1.4.1 照明に LED 照明の使用を可能とする表記を下線部 _____ の通り追加する。

また、下線部 _____ の通り、単位を修正する。

1.4.1 照明

評価は、色評価用蛍光灯（色温度 $5,000$ ($^{\circ}\text{K}\rightarrow\text{K}$)）を使用し、照度 600ルクス以上のもで行う。もし蛍光灯が利用できないときは太陽光線下で評価する。

また、LED 照明器具を使用する場合は、昼白色の色温度 $5,000\text{K}$ 、演色性 RA97 以上、照度 600ルクス以上のもで行う。なお、調光機能が付いた照明の場合は、上記数値になるように調整・確認した後、評価を行うこと。

追補-2018 の解説

追補 1 について

現評価法の「1.4.1 照明」は、色評価用蛍光灯の使用を想定したものである。

蛍光灯照明器具は、既に照明器具メーカーも生産を中止しており、その代替品としては、LED を照明とした照明器具が主流となっている。現在、使用されている蛍光灯照明器具の経年劣化による器具の不具合が発生した際には、更新ができなくなってしまう可能性があることから、LED 照明の使用を可能とする表記を追加する。

また、単位名称「ケルビン度 ($^{\circ}\text{K}$)」は従来の名称であり、SI 基本単位である「ケルビン (K)」に修正する。

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法審議会
構 成 表

製品部会 (部会長)	委員 9 名 (所属、氏名略) 釘 宮 貴 徳	JXTG エネルギー株式会社
潤滑油分科会 (委員長)	委員 6 名 (所属、氏名略) 羽生田 清志	昭和シェル石油株式会社
エンジン試験専門委員会 (主査)	委員 8 名 青 木 隆 二 榎 本 知 之 池 田 直 眞名井 康 金 内 雅 也 中 島 遼 中 條 智 哉 奥 野 篤 史	コスモ石油ルブリカンツ株式会社 出光ルブテクノ株式会社 株式会社エス・ブイ・シー東京 JXTG エネルギー株式会社 シェブロンジャパン株式会社 一般社団法人潤滑油協会 一般財団法人日本自動車研究所 日本ルーブリゾール株式会社
(事務局)	青 山 竜	公益社団法人石油学会

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法

(2014年4月7日追補)

この追補は、2005年2月10日に改訂された“陸用ディーゼルエンジンピストン評価法”2005年版の追補である。

したがって、今後、JPI-5S-15-2005とは、この追補を含むものとする。

なお、この追補は該当箇所のみを示す。2014年4月7日の追補は次の1箇所である。

追補 1

日野自動車製 N04C エンジンのピストン評価例を追加する。

追補-2014 の解説

追補 1 について

自動車用ディーゼル機関潤滑油 清浄性試験方法 (JASO M336) が 2014年3月13日に改正され、試験エンジンが日産ディーゼル工業株式会社 (現: UD トラックス株式会社) 製 TD25 エンジンから日野自動車株式会社製 N04C エンジンへ変更になった。そのため、ピストン評価の参考になるように、N04C エンジンのピストン評価例を追加した。

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法審議会
構 成 表

製品部会	委員 11 名 (所属、氏名略)
(部会長)	山 本 順 三 出光興産株式会社
潤滑油分科会	委員 6 名 (所属、氏名略)
(委員長)	竹 島 茂 樹 JX 日鉱日石エネルギー株式会社
エンジン試験専門委員会	委員 9 名
(主査)	佐 藤 考 JX 日鉱日石エネルギー株式会社
	佐 藤 勝 正 出光ルブテクノ株式会社
	金 内 雅 也 シェブロンジャパン株式会社
	武 田 秀 幸 一般財団法人日本自動車研究所
	山 崎 隆 宏 一般社団法人潤滑油協会
	本 多 高 士 東燃ゼネラル石油株式会社
	青 木 隆 二 コスモ石油ルブリカンツ株式会社
	平 尾 修 二 日本ルーブリゾール株式会社
	池 田 直 昭和シェル石油株式会社
(事務局)	青 山 竜 公益社団法人石油学会

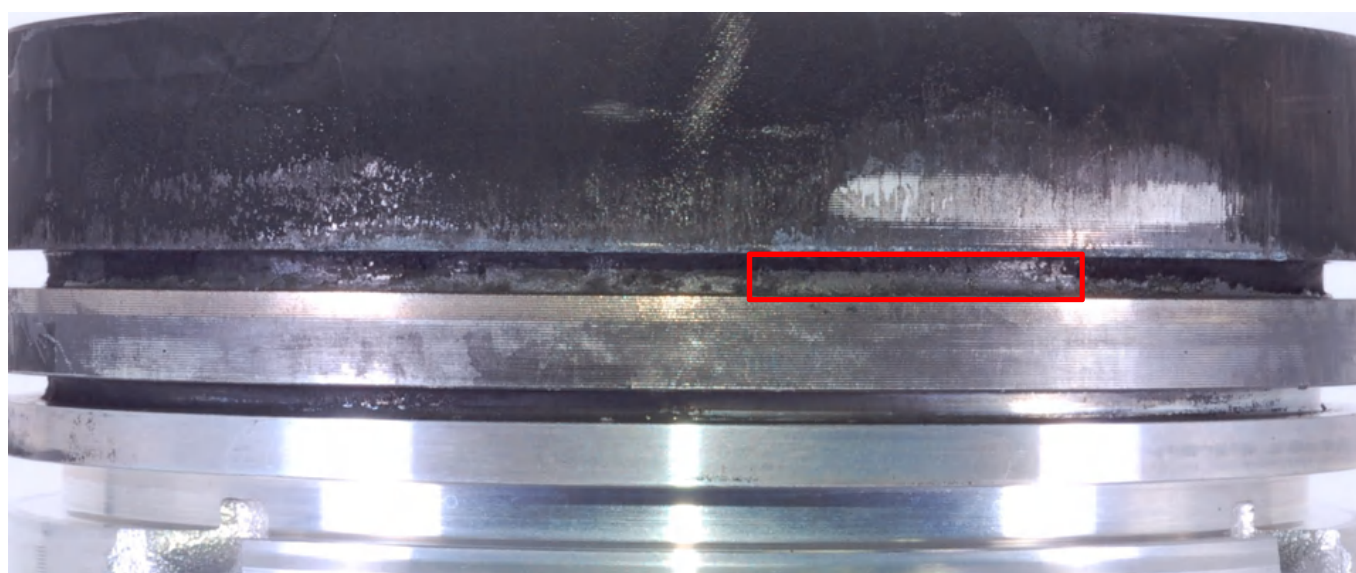
N04C ピストン評価例

カーボンに少しでも光沢がある場合はHCとして評価する。

第1リンググループ評価例①

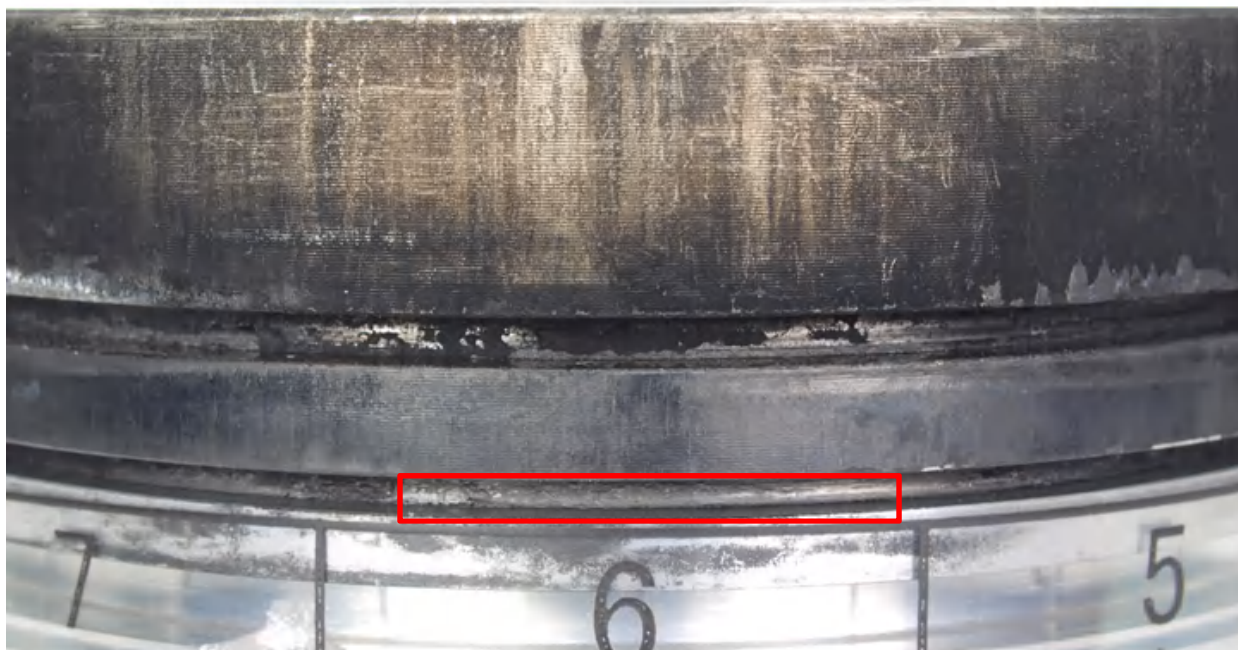


第1リンググループ評価例②

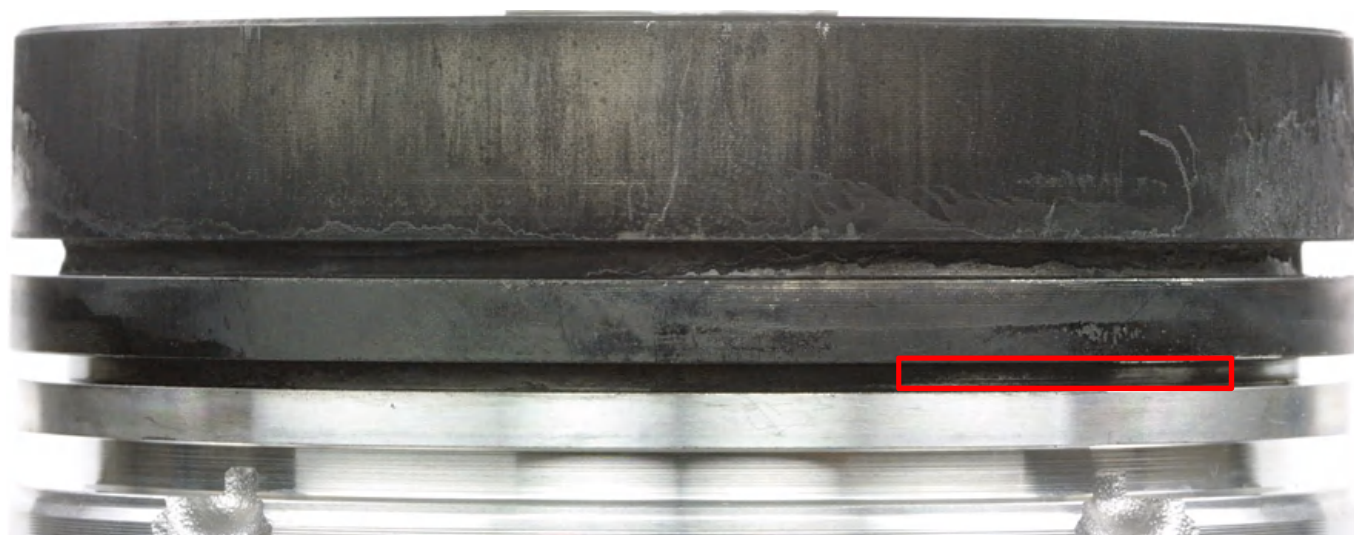


N04C ピストン評価例

第2リンググループ評価例①



第2リンググループ評価例②

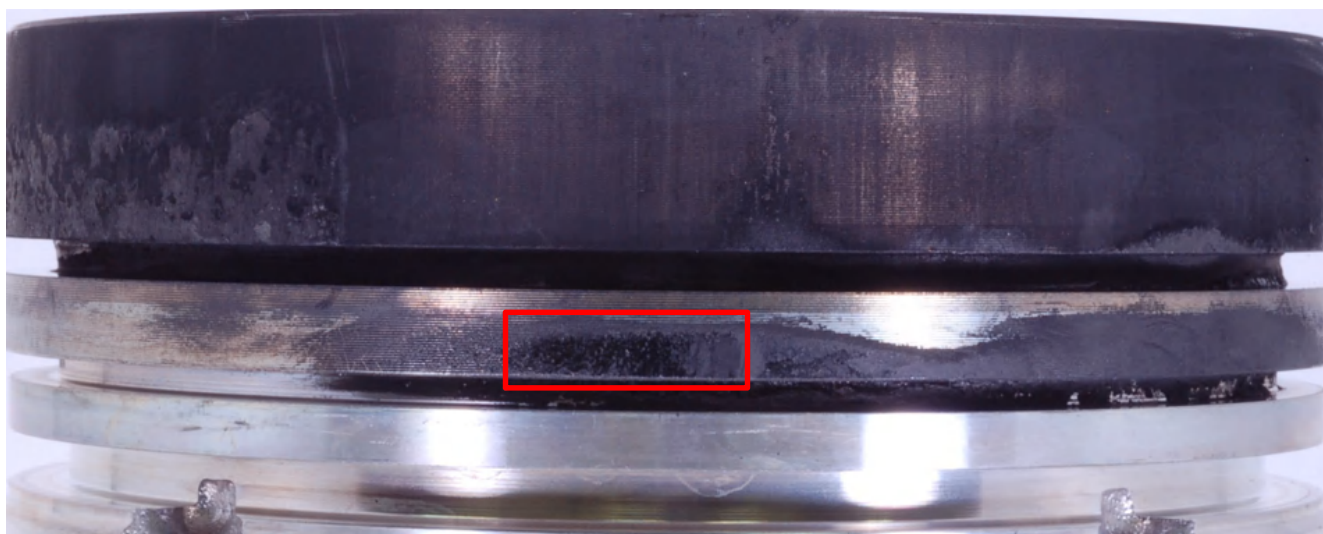


N04C ピストン評価例

第2ランド評価例①



第2ランド評価例②



N04C ピストン評価例

ピストンアンダーサイドは以下の面積区分を参考にして評価する



位置	面積割合
A	4%
B	6%
C	6%
D	42%
E	42%